

日本コミュニケーション学会 関東支部

2022 年度定例研究会

コミュニケーション学の今とこれから

日本コミュニケーション学会（JCA）の年次大会では、ここ何年かコミュニケーション学の様々な変化について活発な議論を交わしてきました。今回の関東支部会ではこれらの議論を引き継ぎ、コミュニケーション学の各分野でご活躍の先生方から、ご専門の領域の現状とこれからの動向についてお伺いする機会を設けます。Zoom でも開催いたしますので、遠方にお住まいの方も振るってご参加ください。

日時：2023年3月19日（日）
場所：立教大学 12号館地下第1・2会議室
Zoom 同時開催
参加費：無料
参加申し込み先 <https://shorturl.at/aB489> or



スケジュール

9:30 受付開始
10:00-10:05 開会の挨拶
10:05-10:25 守崎 誠一 先生 発表
10:25-10:45 師岡 淳也 先生 発表
10:45-11:05 松本 健太郎 先生 発表
11:05-11:15 休憩
11:15-11:55 討議
11:55-12:00 閉会の挨拶

講演者プロフィール

守崎 誠一先生: 関西大学外国語学部教授、同大学 大学院 外国語教育学研究科教授。専門はコミュニケーション研究、異文化間コミュニケーション。JCA 会長。論文に「コミュニケーション教育は可能か」（『日本コミュニケーション研究』44、2015）、「『スキーマ』を通して、文化はどのように我々の認知や行動に影響を与えるのか」（『多文化関係学』7、2010）、「帰納的研究は、人のコミュニケーションを明らかにしてくれるのか：非言語研究への演繹的アプローチの必要性」（『対人心理学研究』10、2010）など多数。

師岡 淳也先生: 立教大学異文化コミュニケーション学部教授、同大学 大学院 異文化コミュニケーション研究科教授。専門はコミュニケーション学、レトリック研究。論文に「戦後日本のコミュニケーション研究の歴史に関するいくつかの考察」（『日本コミュニケーション研究者会議 Proceedings』29、2020）、「The beginnings of mass communication: A transnational history」（*Journal of Communication*, 69, 2019、共著）、「レトリックの先端的研究」（『日本コミュニケーション研究者会議 Proceedings』22、2012）など多数。

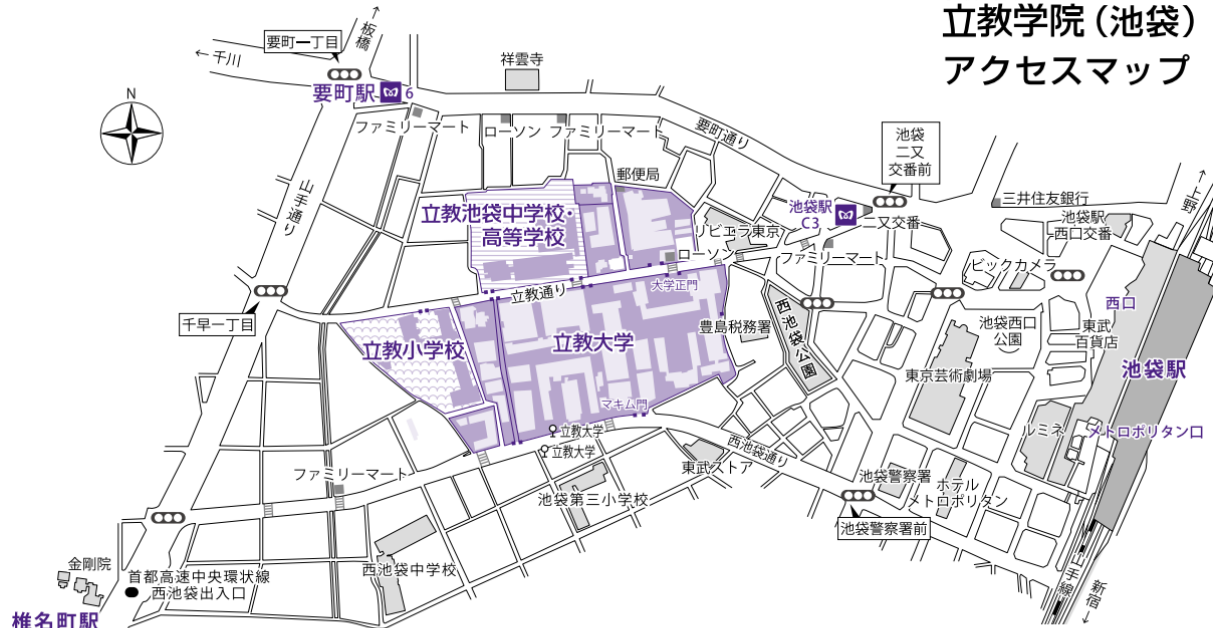
松本 健太郎先生: 二松學舎大学文学部都市文化デザイン学科教授、同大学 大学院 国際日本学研究科教授。専門は記号論、メディア論、コミュニケーション論。JCA 理事（広報局長）。著書に『コンテンツのメディア論』（新曜社、2022、共著）、『よくわかる観光コミュニケーション論』（ミネルヴァ書房、2022年、共編著）、『探尋游戏王国里的宝藏：日本游戏批评文选』（上海書店出版社、2020、分担執筆）、『デジタル記号論』（新曜社、2019、単著）、『ロラン・バルトにとって写真とは何か』（ナカニシヤ出版、2014、単著）など多数。

主催:日本コミュニケーション学会関東支部

田島慎朗（支部長）小西卓三（副支部長）、菅家知洋（運営委員）、松本健太郎（運営委員）

立教大学へのアクセス

学校法人 立教学院 (池袋) アクセスマップ



立教大学 (池袋キャンパス) 〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1
 立教池袋中学校・高等学校 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 5-16-5
 立教小学校 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 3-36-26

池袋駅	<ul style="list-style-type: none"> JR各線 東武東上線 西武池袋線 東京メトロ：丸の内線/有楽町線/副都心線 西口より大学正門まで徒歩約7分 	要町駅	<ul style="list-style-type: none"> 東京メトロ：有楽町線/副都心線 6番出口より大学正門まで徒歩約6分 	椎名町駅	<ul style="list-style-type: none"> 西武池袋線 北口よりマキム門まで徒歩約12分
-----	---	-----	--	------	---

キャンパスマップ

